

医療法人社団まりも会



ヒロシマ平松病院

HIROSHIMA HIRAMATSU HOSPITAL

病院案内





患者さまのニーズに沿った安全で

ごあいさつ



理事長
高澤 篤之

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会
スポーツ医
日本整形外科学会
脊椎脊髄病医



病院長
平松 咲子

日本麻酔科学会認定
認定医
日本医師会認定
認定産業医
日本内科学会認定
認定内科医



会長
平松 廣夫

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定
リウマチ医
日本整形外科学会認定
脊椎脊髄病医

患者さま中心の医療を目指します

広島大学病院や県立広島病院をはじめとする公的医療機関と連携しつつ、急性期を中心に回復期や地域包括ケア病棟を有し、広島市南区を中心とした地域医療並びに広島都市圏における病院群輪番制病院として、整形外科及び外科の輪番を担当し、救急搬送患者の受け入れを積極的に行い、地域の救急医療にも貢献しています。

また、医療と介護の連携の観点から、当会の開設している訪問看護ステーション及び介護関連施設との連携はもとより、南区の在宅医療相談支援窓口として、地域に所在する医療機関や介護関連施設等とも緊密な連携を図り、広島県の地域医療構想に基づく、地域包括ケアシステムの確立も目指しています。

なお、医師及び歯科医師のみならず、看護師、理学療法士や作業療法士等のコメディカル職員が、それぞれの分野で研鑽を重ね、高度な医療技術や看護技術等々に基づくチーム医療を推進し、分野横断的な医療を引き続き提供します。

患者さまから、ここに来て良かったと言ってもらえるよう、職員一同努力いたしておりますので、何卒宜しくお願いいたします。



安心できるチーム医療を提供します

理念・ミッション

思いやりとまごころをもって心身ともに癒やされる医療・介護を提供し、

ビジョン

- 治し、癒やし、支える。様々な専門職が協同し、人がよりよく生きるための医療・介護を実践します。
- 他の医療機関・介護施設と連携し、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築に協力します。
- 「安心して」、「相互に助け合い」、「成長し続ける」職場づくりを目指します。

行動指針

私たちは、日々医療・介護の質向上に努め、安全・安心で信頼できる医療・介護を提供します。
私たちは、地域の救急医療に積極的に参加し、誰もが安心して暮らせる社会づくりに貢献します。

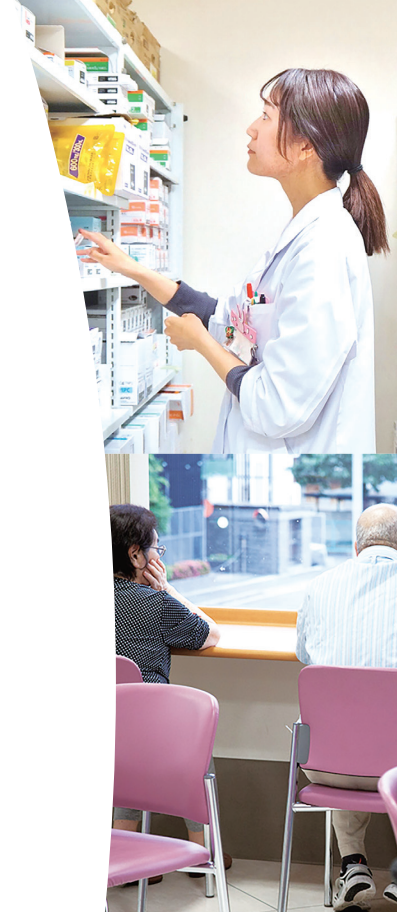
私たちは、利用者さまに謙虚に耳を傾け、医療・介護の倫理にしたがいつつ利用者さまの意思と権利を尊重します。

私たちは、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムの構築に貢献します。

私たちは、魅力ある働きがいのある職場づくりを通して、思いやりとまごころのある病院

沿革

昭和57年	医療法人社団まりも会 平松整形外科病院 発足
平成11年	河石記念病院 設立
平成18年	河石記念病院を八丁堀平松整形外科消化器科病院に改名
平成23年	上記2病院を統合して ヒロシマ平松病院 設立 銀山町ヒロシマ平松整形外科を無床診療所として再スタート
平成27年	サービス付き高齢者向け住宅「ケアホームひらまつ」 訪問介護事業所「サポートひらまつ」 訪問看護ステーション「サポートひらまつ」 デイサービス「サポートひらまつ」 居宅介護支援事業所「ひらまつ」 上記5事業所をヒロシマ平松病院に隣接して設立 銀山町ヒロシマ平松整形外科無床診療所を閉院
平成28年	ヒロシマ平松歯科口腔外科クリニック を設立
平成30年	通所リハビリテーション事業を開始
平成31年	3月末でヒロシマ平松歯科口腔外科クリニックを閉院 4月に歯科口腔外科を病院に編入
令和 2 年	5月に高澤篤之病院長就任
令和 6 年	6月に高澤篤之理事長、平松咲子病院長、平松廣夫会長就任



病院概要

- 病院長..... 平松咲子
- 所在地..... 〒732-0816 広島市南区比治山本町11-27 TEL(082)256-3650(代表)
- 病床数..... 161床(一般病棟80床・地域包括ケア病棟40床・回復期リハビリテーション病棟41床)
- 手術室..... 4室
- 診療科目..... (全16科) 整形外科、形成外科、外科、消化器外科、内視鏡外科(消化器)、呼吸器外科、脳神経外科、麻酔科(平松咲子・森脇克行)、内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、リウマチ科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科
- 休診日..... 日曜日、祝日、土曜日午後、年末年始(12月30日～1月3日)、お盆休み(8月13日～15日)

機能指定

- 保健医療機関
- 救急告示医療機関
- 労災保険指定医療機関
- 難病の患者に対する医療等に関する法律第14条第1項の規定による指定医療機関
- 生活保護法指定医療機関
- 被爆者一般疾病医療機関
- 指定自立支援医療機関(育成医療 更生医療)

連携医療機関

- 広島大学病院
- 広島市立広島市民病院
- 県立広島病院
- 広島赤十字・原爆病院

施設認定

- 日本整形外科学会認定研修施設
- 日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
- 日本口腔外科学会准研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度関連施設
- 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会ストーマ認定施設
- 日本病院機能評価機構認定病院

施設基準

当院が中国四国厚生局に届出をしている施設基準の最新情報はQRコードをご確認ください。



《保険外併用療養に係る項目》

特別の療養環境の提供(差額病床の料金はQRコードをご確認ください。)



《自由診療》

多血小板血漿抽出液による関節症治療
多血小板血漿を用いた靱帯、腱及び腱付着部の機能障害・疾患の治療
PRP-FD療法による関節治療
体外衝撃波治療(詳細はQRコードをご確認ください)



診療実績

年間手術件数1,906例、救急搬送受入577例、時間外患者数586人、外来患者数48,934人(令和5年度)
最新の診療実績はQRコードをご確認ください。



- ※ HMネット開示病院
- ※ 医学文献検索(メディカルオンライン)導入
- ※ 遠隔画像診断(ラドアシスト)導入
- ※ 電子書籍検索(イーブックスライブラリー)導入
- ※ AI問診導入
- ※ UpToDate導入

臨床実習受入学校

医療スタッフを目指す学生の皆様の臨床実習施設として、毎年多くの実習生を受け入れています。

- 看護部…………… 広島市医師会看護専門学校 / 広島県立皆実高等学校
- リハビリテーション部…………… 広島大学 / 広島都市学園大学 / 広島国際大学 / 県立広島大学

救急医療体制

『断らない救急、地域によりそう救急、地域を守る救急』



広島二次医療圏(広島市域・府中町・海田町・熊野町・坂町等)における入院治療を必要とした重症救急患者に対応する二次救急医療を担い、地域に貢献すべく広島市医師会の実施する病院群輪番制に参加し、広域に渡り多くの救急患者を受け入れています。

現在おこなっている、月11回の整形外科輪番・月3回の外科輪番を継続し、救急搬送患者の応需率をさらに向上できるよう積極的な貢献を目指しています。

【病院群輪番制】

- 実施主体:広島市医師会 ■ 実施日:毎日夜間および休日昼間
- 実施区域:広島市域、府中町、海田町、熊野町、坂町、他
- 参加医療機関数:広島地区 27医療機関

南区在宅医療相談支援窓口

在宅医療の事業を継承し、南区における在宅療養患者の入院調整や医療機関からの在宅医療に関する相談に対応する窓口として、平成29年2月1日から運営しています。



臨床研究

当院では、地域医療への貢献、患者さま中心の質の高い医療の実践を向上すべく、医師、歯科医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などさまざまな医療分野における臨床研究活動に積極的に取り組んでいます。

また、Webでの医学文献検索(メディカルオンライン)及び電子書籍検索(イーブックスライブラリー)を導入するなど、研究支援の充実を図っています。

学会発表実績

「日本スポーツ整形外科学会」「日本癌治療学会」「日本口腔外科学会」「日本摂食嚥下リハビリテーション学会」「回復期リハビリテーション病棟協会学術集会」「リハビリテーション・ケア合同研究大会」「日本運動器理学療法学会」「中国ブロック理学療法士学会」「広島県病院学会(優秀賞受賞)」

(令和5年度実績)

広報・情報発信

当院は、広報誌「まりもだより」を発行しております。地域の医療施設・介護事業所さま、患者さまや地域住民のみなさまに向けて当院からの最新情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください。



整形外科 各種専門

脊椎脊髄センター

手足のしびれや頸部痛、腰痛などを生じる椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症、転倒などによる脊椎圧迫骨折(背骨の骨折)などの治療を行っています。患者さまの病態に応じて、保存加療(薬物治療やリハビリテーション)、手術を行います。脊椎の手術では、顕微鏡を用いて手術視野を10倍以上に拡大し、両目で立体的に見ながら非常に細かい手術を安全に実施しています。その他にも経皮的椎体形成術(Balloon Kyphoplasty;BKP)やヘルニコアを用いた治療も提案しています。



骨・軟部腫瘍センター

がんは内臓などの上皮組織に発生した悪性腫瘍ですが、骨・軟部腫瘍は、骨や軟部組織(脂肪・血管・神経・筋肉など)に発生した腫瘍です。良性と悪性があり、骨腫瘍には良性の軟骨腫・内軟骨腫・骨巨細胞腫など、悪性の骨肉腫・軟骨肉腫などがあり、骨腫瘍類似疾患として線維性骨異形成・骨嚢腫・非骨化性線維腫などがあります。軟部腫瘍には良性の脂肪腫・血管腫・神経鞘腫など、悪性の脂肪肉腫・未分化多形肉腫・粘液線維肉腫などがあります。



骨腫瘍は運動時の深部の痛み、軟部腫瘍は体のしこりや腫れで気づくことがあります。画像検査で偶然見つかることも多々あります。良性の場合、必ずしも切除する必要はありませんが、悪性の場合、早期に診断し治療を開始する必要があります。骨・軟部腫瘍センターは、MRI・CTなどの画像検査や生検や摘出術などの手術が比較的早期に実施できる体制があります。運動時の骨の痛みや体のしこりに気づいた方は受診してください。



膝関節センター

膝関節は体を支える重要な関節であり、スポーツによる膝関節外傷から、年齢的な変化による変形性膝関節症まで様々な疾患・病態があります。スポーツ外傷では前十字靱帯損傷・半月板損傷が多く、一旦生じてしまうと自然回復は困難であり、スポーツに復帰するしないに関わらず、将来的な膝の変形を生じないためにも手術治療が必要となります。膝関節を構成する軟骨・半月板は血流が乏しく、一旦傷つくと自然には修復されない組織であり、放置しておくと変形性膝関節症に進行していきます。一旦痛みで悩まされるとなかなか改善しないため、早期の治療が望まれます。当院では、膝スポーツ外傷の治療から変形性膝関節症の治療まで幅広く対応いたします。



近年では再生医療に注目が集まっており、半月板・軟骨損傷などに対し、自己の血液を加工し組織再生に役立つ成分のみを回収して注射を行うPRP(Platelet Rich Plasma:多血小板血漿)療法、また自分の軟骨を採取し、軟骨損傷部位に移植する培養軟骨移植術などの再生医療も可能です。

骨折・外傷などの救急外来

転倒や事故などにより手足や脊椎の骨折・外傷等を生じた患者さまの救急対応をしております。また、夜間や休日にも二次救急病院として広島県の病院群輪番制に参加し、入院治療や手術に対応しています。



骨粗鬆症の診療とFLS（骨折リエゾンサービス）

骨粗鬆症とは、骨の量(骨量)が減って骨が弱くなり、骨折しやすくなる病気です。当院整形外科では血液検査やX線(レントゲン)検査だけでなく、骨密度測定を行い、内服薬や注射などによる治療を行います。より正確な骨密度を測定するために、DXA法を用いて腰の骨と足の付け根の骨の骨密度を計測します。当院では、地域の医療機関の先生方から骨密度検査のご予約を承っております。検査のみでなく、診察や推奨薬の紹介といった組み合わせで、先生方のご要望にお応えいたします。詳細はQRコードをご確認ください。



また、患者さまが何度も骨折を繰り返さないように整形外科医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ療法士、放射線技師などの専門家が連携して支援する骨折リエゾンサービス(FLS)にも取り組んでいます。



形成外科：光嶋勲リンパ浮腫センター

広島県におけるリンパ浮腫治療の専門施設として、患者さま一人ひとりに寄り添った、明るく質の高い医療サービスの提供を目指します。

長年、広島大学病院国際リンパ浮腫治療センターにおいてリンパ浮腫の治療と研究、医師の育成に尽力してこられた光嶋勲教授を筆頭に、より多くの患者さまに質の高いリンパ浮腫治療を提供する「光嶋勲リンパ浮腫センター」を開設しました。

当センターでは、最新の医療技術と設備、そして経験豊富な医療スタッフが、患者さま一人ひとりの症状に合わせた最適な治療法をご提案いたします。リンパ浮腫は、早期発見・早期治療により症状の進行を抑制し、QOL（生活の質）を維持することが可能です。「足のむくみが気になる」「リンパ浮腫かもしれない」など、お気軽にご相談ください。



術前



術後

消化器外科：外来化学療法・ストーマ外来

外来化学療法室を設け、胃がん・大腸がんなどへ化学療法を行っています。患者さまの生活スタイルを変えることなく治療が継続でき、不安、ストレスを抱え込まないよう努めています。また、患者さまの声に対応できるよう時間外や夜間、休日に対応できるよう取り組み、必要時は入院ができる体制も整っています。

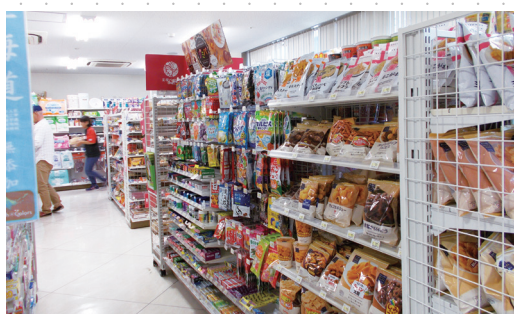


また、主に消化器ストーマを造設されているオストメイトの方を対象に術後の定期的なフォローアップを含め、皮膚トラブルや便漏れなどの日常生活のなかでのトラブルの対応を目的にストーマ外来を行っています。



フロア案内

				8F 屋上庭園
	4F	5F	6F	7F 4F・5F 一般病棟 / 6F 地域包括ケア病棟 / 7F 回復期リハビリテーション病棟
3F	手術室 / 内視鏡室 / 医局 / 薬局 / 看護部長室 / 管理事務室 / 診療情報管理室 / 図書室			
2F	リハビリテーション室 / 研修室 / コンビニエンスストア(ポプラ) / 厨房 / 療養病床食堂兼談話室 / 職員食堂			
1F	受付 / 診察室 / 救急室 / レントゲン室(MRI・CT・透視室) / 検査室 / 地域医療連携室 / 医療相談室 / 医事課 / 脳波検査室 / 処置室 / 管理事務分室(防災センター)			



2F ポプラ

2階エレベーター前のコンビニエンスストア「ポプラ」では、食料品だけでなく、日用雑貨や衛生材料の品揃えも充実しており、土・日も営業しています。なお、患者さまやご家族の方々にくつろいでいただけるようラウンジを隣接しています。



8F 屋上庭園

屋上庭園は、入院患者さまの気分転換や癒しの場としてだけでなく、リハビリ用のクッションフロアを敷いており、リハビリテーションの一環として利用できる場所になっています。

また、広島みなと夢花火大会日には、くつろいで鑑賞できるように椅子を用意します。



病院からの風景

併設施設(当院北側に隣接)

介護関連施設・事業所

- サービス付き高齢者向け住宅
「ケアホームひらまつ」
TEL:082-250-8601
FAX:082-256-3655

この住宅は、介護・医療と連携し、60歳以上(要介護認定若しくは要支援認定を受けている60歳未満の方を含む)の高齢者が安心して居住できるサービスを提供する賃貸住宅です。

また、この住宅内に右記の4事業所を併設し、充実した医療介護連携体制の構築により、入居者の生活をトータル的にサポートいたしますので、介護に関する問題等がありましたら、いつでもご相談ください。

- 訪問介護事業所「サポートひらまつ」
TEL:082-250-8068
FAX:082-256-3656

- 居宅介護支援事業所「ひらまつ」
TEL:082-250-8062
FAX:082-256-3656

- 訪問看護ステーション「サポートひらまつ」
TEL:082-250-8063
FAX:082-256-3656

- デイサービス「サポートひらまつ」
TEL:082-250-8069
FAX:082-256-3657

- ヒロシマ平松病院通所リハビリテーション
TEL:080-2886-7586
FAX:082-256-1545



手術室 3F

それぞれに特徴を持った4つの手術室を備えています。手術室1には開腹や開胸することなく行うことのできる内視鏡下手術のための最新の設備を揃えています。手術室2には整形外科、形成外科、消化器外科、呼吸器外科などのあらゆる手術に対応できる高性能の手術台を設置しています。全室清浄度クラスⅡを完備・維持し、コード類は天井懸架とするなど術者にとっても快適に手術を行えるようにするための工夫もしています。



▶ 腹腔鏡・胸腔鏡・関節鏡手術

内視鏡下手術とは、体に小さな穴を数箇所あけ、細長いカメラスコープと専用の手術器具(鉗子など)を体に挿入して、カメラが映し出した体の中をテレビモニターで見ながら遠隔操作で行う手術をいいます。体の中を見るカメラの種類によってお腹の場合は腹腔鏡下手術、胸の場合は胸腔鏡下手術、関節の場合は関節鏡下手術といえます。利点として、従来の手術方法と比べて**傷口が小さい・体にかかる負担が少ない・術後の回復が早い・術後の痛みが軽くなることが多い**などがあります。当院での主な症例としては、ソケイヘルニア、胆のう胆石症、急性胆のう炎、大腸癌、肺癌、肩腱板損傷、股関節唇損傷、膝半月板損傷、膝前十字靱帯損傷などに対して内視鏡下手術を行っています。

▶ 顕微鏡下手術

脊椎脊髄外科、超微小循環外科(リンパ浮腫治療)、血管・神経マイクロサージャリーでは、顕微鏡下で手術を行っています。



消化管内視鏡室 3F

通常、胃カメラといわれる上部消化管内視鏡検査と、大腸カメラといわれる下部消化管内視鏡検査を行っています。最新の内視鏡システムを導入し、検査だけでなく大腸ポリープ切除などの治療も行っています。

患者さまのご希望に応じて、鎮静剤を使用し、これまで「痛い」「苦しい」という思いをされた方でも、苦痛なく検査を受けていただけるようにしています。検査室ではBGMを流しており、リラックスして検査を受けていただけるよう心がけています。



検査 1F

【放射線検査】

- 一般X線撮影
(無線式フラットパネルディテクタ)
- 透視撮影
- CT検査 (16列マルチスライスCT)
- MRI検査 (超電導型MRI ドーナツ型)
- 骨密度検査 (DEXA法)

【検体検査】

- 血液検査
- 尿検査

【生理機能検査】

- エコー検査
- 心電図検査
- 肺機能検査
- 体液量測定検査
- 動脈硬化スクリーニング検査
- サーモグラフィー検査
- 睡眠時無呼吸検査
- 神経伝達速度測定検査
- 神経知覚閾値検査



看護部

看護部理念と基本方針

医療従事者としての誇りを持ち、使命と役割を自覚し質の高い看護を提供します。

- ① 患者さま一人一人と向き合い、人格を尊重した思いやりのある看護を行います。
- ② 安心・安全な看護を行います。
- ③ 積極的に学習する意欲を持ち、自己能力の開発に努めます。
- ④ 健康で明るい職場作りを目指します。

看護部長あいさつ



看護部長・認定看護管理者
(日本看護協会認定)
川本 ひとみ

ヒロシマ平松病院は、二次救急医療を担う161床の病院であり、整形外科を中心に16診療科を運営しています。また、南区の在宅医療相談支援窓口の運営や、救急医療体制では「断らない救急、地域に寄り添う救急、地域を守る救急」をモットーにして、地域に根ざしたアットホームな病院です。

看護職員は2交代勤務の中で、常勤・非常勤・パート勤務、短時間正社員など多様な働き方をしています。育児休職を終えた看護師達も離職することなく復職し、ワークライフバランスを充実させています。

当院は付属の看護学校等がありませんが、様々な教育課程を経た看護職員で構成し、一人ひとりの特技と力を結集し、強力な組織づくりに努めています。

また、継続教育に力を入れており、院内の職員教育の一環である院内研修を看護部で企画・運営しています。更に、看護部では教育委員会が現任教育を統括し、ラダーレベル別研修、新人研修、経年別研修などを運営し、継続教育の温床となる土壌をしっかりと整備しています。そうした中で、看護職員は「今の自分を超越る」ために、日々能力開発に努めています。

教育体制

- 新人教育**
- 新人看護職員研修ガイドラインに沿った新人教育
 - プリセプター・エルダー制で新人の教育・支援体制
 - ローテーション研修(一般病棟、回復期機能病棟、手術室、外来)の実施
 - 個人の進捗状況を把握しながら部署毎の教育
- 継続教育**
- 年間を通じて週1回の院内研修会を開催
 - ラダー別の研修会の開催
 - 院外研修会参加のための支援体制



院内・院外で活躍する看護師



皮膚・排泄ケア認定看護師

褥創予防・ケア、ストーマ管理・相談、排尿に関するケアについてよりよい看護実践を、職員とともにを行っています。



災害支援ナース

(災害・感染症医療業務従事者)

研修を受け、看護協会に登録された看護師が災害時に派遣されます。西日本豪雨災害時には、当院の災害支援ナースも派遣されました。



骨粗鬆症マネージャー

入院、外来患者さんはもちろんのこと、地域での超高齢社会における健康格差の縮小と健康寿命の延伸に貢献できるよう、骨粗鬆症予防の輪を広げていくための対策を多職種と共に検討し活動します。

ワーキンググループ・委員会

ワーキンググループ

- 化学療法WG
- ストーマケアチーム
- 摂食嚥下WG
- 認知症ケアWG
- ADL維持向上WG
- 入退院支援WG
- 排尿ケアチーム

ワーキンググループは多職種のメンバーで構成し、患者さまとご家族のQOL(生活の質)を維持・向上するために、入院時から積極的に関わっています。安全で統一したケアを継続的に実施できるよう取り組んでいます。

委員会

- 看護師長会議
- リスクマネジメント委員会
- 看護リーダミーティング
- 看護部感染対策委員会
- 看護部教育委員会
- 看護部業務委員会
- 看護部記録委員会
- 看護補助者ミーティング
- 褥瘡委員会

各委員会活動を通して、看護レベルの向上を目指し、安全で質の高い看護が提供できるよう努めています。

リハビリテーション部

● 運動器リハビリテーション

骨・関節・筋肉・靱帯などに障害を受けた患者さまに対して、関節の動きや筋力の回復などの機能改善や日常生活に必要な動作練習を行います。

● 脳血管疾患等リハビリテーション

脳出血・脳梗塞などの脳血管疾患や脊髄症などの脊髄疾患の患者さまに対して、全身の運動機能の改善や日常生活に必要な動作練習を行います。

● 呼吸器リハビリテーション

肺炎や肺気腫などの呼吸器疾患の患者さまに対して、息切れを感じにくい生活を送ることを目的とした呼吸の練習や日常生活動作の工夫などを行います。

● がん患者リハビリテーション

がんの治療により身体機能の低下をきたした患者さまに対して、筋力トレーニングや持続的なトレーニングまたは日常生活に必要な動作練習を行います。

● 摂食機能療法

歯科口腔外科医師による嚥下機能評価の結果を元に、患者さまの嚥下機能の改善を目的とした口唇や舌の運動、発声練習、飲み込みの練習を行います。



リハビリ部では
さまざまな
リハビリを行っています

◆本院におけるリハビリテーションの実施は、院内2階のリハビリテーション治療室と、隣接するサービス付き高齢者向け住宅「ケアホームひらまつ」の1階に通所リハビリテーション(介護保険適用)を併設して実施しています。

さらに以下の2つの介護保険サービスによるリハビリテーションにも携わっています。

● デイサービス「サポートひらまつ」

利用者の方の心身機能維持や生活機能向上を目的としたリハビリを行っています。

● 訪問看護ステーション「サポートひらまつ」

利用者の方のご自宅へ赴き、生活環境に沿った動作の獲得や社会参加の向上を目的としたリハビリを行っています。

▶ 薬剤部



適切で安全な薬物治療が受けられるよう調剤だけでなく薬剤管理指導も実施しています。患者さま一人ひとりの状態を把握した上で、持参薬を含む服薬状況、飲み合わせ、アレルギー等の確認を行い、処方された薬剤を安心してご使用いただけるように薬剤説明を行っています。医薬品の情報提供や処方提案など医師や看護師と連携して効率的で安全な薬物治療を提供できるよう取り組んでいます。

▶ 臨床検査部



検体検査と生理機能検査を行っています。

患者さまから採取した血液や尿などの検体検査では、迅速で正確な結果の提供を目指しています。患者さまに直接対応する心電図や脳波、肺機能検査などの生理機能検査では、安心してスムーズに検査を受けていただけるよう、検査前に必ず分かりやすく正しい説明を実施しています。

▶ 臨床工学科



病院全体のさまざまな医療機器の管理を行っています。いつでも安心して使用できるように、また機器の性能が維持できるように点検・保守を行っています。人工呼吸器などが使用されている場合は、直接ベッドサイドへ行き、装置に異常がないか、安全に使用されているかなどを確認したり、装置の操作を行ったりします。安全性確保と有効性維持の担い手として、医師や看護師と協力してチーム医療をサポートしています。

▶ 放射線部



レントゲン、CT、MRI、透視検査、骨密度など最先端の医療機器を設備しています。無線式FDP(フラットパネルディテクタ)を採用し、スピーディーなレントゲン撮影が行えるため、患者さまの負担が大幅に軽減され、さらに待ち時間も短くなっています。撮影した画像は非常に高画質なので、的確な診断をすることが可能です。またCTやMRIを備えることで、救急医療体制を含め、幅広い分野において高度な医療を提供することができます。

▶ 栄養管理部



医師の治療方針のもと、患者さま一人ひとりに合わせた必要な栄養素の食事や、患者さまの状態に応じて、軟らかい食事、むせにくい食事などの提供をしています。食事を視覚でも楽しんでいただけるように、季節の行事食などの工夫をしています。また、治療に必要な食事や食生活における不安や疑問にお答えできるように、管理栄養士が栄養相談を行っています。

▶ 地域医療連携室



近隣の医療・福祉機関と連携をとり、患者さまの紹介または受入、転院相談などスムーズに診療が継続できるよう調整しています。また、退院に不安を持たれている患者さまやご家族に対して、医師、看護師、理学療法士やケアマネジャーなど様々な職種との連絡や調整を行い、安心して退院していただけるよう支援しています。ご要望や相談の窓口として、種々の問題に対応しています。

病院までのアクセス方法



バス・電車でお越しの方

■JR広島駅前～

- ① 広電バス、広島バス、広島交通が共同運行する「まちのわらべ」右回り
路線番号 302・312・322・332・342/
「大学病院入口」で下車(徒歩約10分)
- ② 広電電車 5号線 広島港行／「南區役所前」で下車(徒歩約5分)

■JR横川駅前～県庁～八丁堀～

- ③ 広島バス 23号線 大学病院行／「南區役所前」で下車(すぐ横)
- ④ 広島バス 23-1号線 大学病院行／「大学病院入口」で下車(徒歩約10分)

■JR横川駅前～県庁～市役所～

- ⑤ 広電バス 7号線
仁保車庫前行・向洋新町車庫行／「南區役所前」で下車(すぐ横)

■広島港～

- ⑥ 広電電車 5号線 広島駅行／「南區役所前」で下車(徒歩約5分)

お車でお越しの方

P 駐車場について(立体駐車場20台)

- 当院は立体駐車場(病院玄関前)を用意しております。
原則外来患者さま専用となります。
- 入院される方自身の駐車は禁止です。
- お見舞いの方は、近隣の駐車場をご利用下さい。(有料)



医療法人社団まりも会

ヒロシマ平松病院

〒732-0816 広島市南区比治山本町11-27

TEL 082-256-3650

FAX 082-256-3670

<https://www.marimokai.or.jp/>

【まりも会理事長】高澤 篤之

【病院長】平松 咲子

